

伊達な旅ガイド

Vol.140

笑顔咲きたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

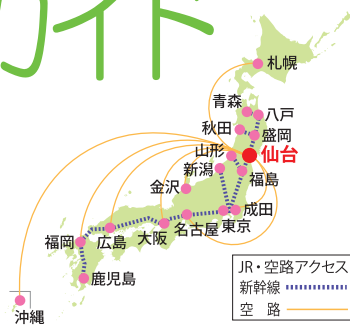
伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
19:54~20:00
BS-TBSにて大好評放送中

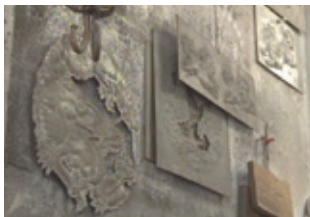


宮城県
観光PRキャラクター
むすび丸



9月30日
放送

仙台の伝統工芸



仙台^{たんす}簞笥や仙臺^{せんだいついしゅ}堆朱など多くの伝統工芸品が受け継がれ、「伝統工芸の街」とも呼ばれる仙台。見事な装飾が施された仙台簞笥や、漆を何度も塗り重ねて磨き上げられた艶やかな仙臺堆朱はまさに芸術品。長い歴史の中で受け継がれてきた伝統と、新しさを取り込んだ匠の技から作られる仙台的伝統工芸品に触れてみませんか。

仙台簞笥

虎や竜、唐獅子など男らしい絵柄の金具が特徴。木目の荒々しい部分だけを厳選し、たんすの正面に据えるよう設計されています。



仙臺堆朱

漆工芸の一種。漆を何度も塗り重ねては磨き上げ、層を作るという作業を繰り返して作られています。



熊野洞

Tel.022-398-2661

職人を集め、作業を一貫して行うため、さまざまな工程を見学することができます。



仙台堆朱製作所

Tel.022-291-5414

現在、唯一残る仙台堆朱の作家・南一徳さんの工房。



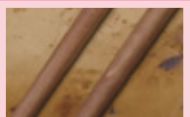
熊野洞 熊野 彰さん

「仙台簞笥は4尺ということで、男持ちのたんすといわれています。刀が入り、羽織を折らずに入れるという目的から引出しが大きく作られています。漆塗り体験では、体験者の方にビニールの手袋を差し上げて漆が付かないようにやっています」



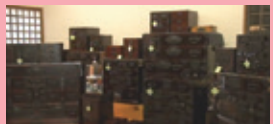
箸の漆塗り体験

漆を塗ることで綺麗な木目が浮かび上がります。



ZOOM UP

現在は住まいに合わせてさまざまな大きさの仙台簞笥が作られています。



仙台堆朱製作所 南一徳さん

「グッドデザイン賞を受賞した作品の模様は、漆をこしたどんぶりの周りを水につけてろくろで削っていたら偶然できたことがきっかけです」



ZOOM UP

朱色のほかに黒、緑、黄色などの漆を塗り重ね、磨き上げる際の下地の微妙な凹凸が綺麗な模様を作り上げます。塗る順番や削り具合で模様が変わります。



■製作中の新作

光に照らすと中が透けて見え、水を注ぐと、漆の間に入れたもみじが浮かび上がってくる風流な作品。

